

## No.ア B05 Calme beaute

～森本草介から着想を得た衣服の制作～

井上研究室 A18AB048 小林万理恵

### 1. はじめに

衣服制作をすることで「美しい」ものを表現したいと感じていた。「美しい」という表現は漠然としており自分の表現したい「美しさ」とは何か掘り下げることにした。思考の過程で、「穏やかな」や「優しい」という静かで柔らかいものに自身が惹かれることがわかった。

さらに、自分の中で追及すると「穏やかな美しさ」に心を惹かれた。この「穏やかな美しさ」を表現する作家を探究するうち日本洋画家の森本草介の作品に行き着いた。

森本草介の作風は穏やかな人柄そのもので、画家の作品の根底に流れるテーマは常に「生きる喜び」があり、生きていてよかったと思える絵を描きたいという情熱を感じる。そんな「穏やかな美」を表現している森本草介の作品に触れ、繊細でゆったりとしているような世界観が自身の表現したいものを感じたため、その世界観を表現する作品を制作することに決定した。

### 2. テーマとリサーチ

インターネットや過去の新聞<sup>1)</sup>をもとに、森本草介について知ることにした。作品を調べ、理想化した女性像を表現する世界観をデザインに落とし込むことへの参考にした。



図1 リサーチの一部

リサーチの結果、作品らは「敬虔なる写実」を称され、セピアトーンと筆跡を残さない滑らかな筆運びから写実的なものが多くみられることがわかった。また、女性画では静かに佇む穏やかな時間が過ぎているような作品を描いていた。そこで、「セピアトーン」と「穏やか」を基調に、陽による陰影や柔らかな質感を要素としたデザインをテーマにした。

### 3. デザイン

テーマに沿って集めた資料を基に素材を集め、コラージュをし、ムードボードを作成した。



図2 ムードボード

色展開は、テーマにもあるようにセピアトーンカラーを中心にした。素材は陰影を表現するために、軽く少し透けるような綿を中心にしようすることにした。

リサーチした中からモチーフをコラージュし着想を得て、フロントスタイルとバックスタイルを各100体デザインを描いた。その100体のパターンのデザインから、ムードボードのイメージにより合う20体のデザイン画をコレクションラインとして選定した。その選定した20体のコレクションラインをそれぞれ5色に展開し、その中から1体ずつを選び清書した。

その後どの布を使用するのかのサンプルも作成し、20体のうちから実際に制作するデザインを選定した。その中で特にフリルが胸元にあり、より優雅さと陰影の美しさを強く感ずるようなスタイルであるデザイン画に決定し図4に示す。



図3 20体のコレクションラインから  
選定した1体ずつのデザイン



図4 制作するデザイン

#### 4. 制作

##### 4-1 型紙制作

本制作は、製図をし、シーティングにて作成したのち修正を行った。スカートはウエストベルトから5cmのタックを入れ、より立体的になり陰影を生むようにした。



図5 シーティングによる試作作品の試着

##### 4-2 本縫い

本制作では森本宗介の描く美しい陰影を表現するために、天日干しされている綿を使用した。また、ブラウスのヨーク部分のフリルは、2枚重ねた状態にすることでよりボリュームを出しエレガントさを感じるようにした。また、針目を大きく一直線に縫い、片方から引っ張り寄せ作成した。その後ギャザーを前身頃から後ろ身頃にかけて均等に入るように注意しながら縫い合わせた。

袖には開きを作ることでより着易くし、ブラウスとスカートの裾はまつり縫いにて始末を行い、高級感を感じる作品に仕上げた。



図6 完成品

#### 5. おわりに

自身の表現したかったイメージを形にするまでの工程を学び、工夫を行った。また、デザイン展開には苦戦したが、「穏やかな美」という題に合うような衣服制作ができた。

さらに、ブラウスとスカートを作成することで様々な作り方も知ることができ、4年間の集大成となる制作を行うことが出来た。

#### 6. 参考文献

- 1)朝日新聞,朝刊p28,2017年9月7日
- 2)<https://www.hoki-museum.jp/collection/morimoto.html>(2021/11/27)
- 3)<http://art.xtone.jp/artist/archives/sosuke-morimoto.html>(2021/11/27)
- 4)<http://touchofcolorr.blogspot.com/2016/01/sosuke-morimoto.html>(2021/11/27)